



送信元のIPが169.254.x.x (通常はこのIPになる)の場合、192.168.x.x等のアドレスに送信出来ない場合がある。
この場合、PCのIPアドレスの変更が必要
IPを自動(DHCP)に設定することで、DHCPが無い(直結) の場合、IPが169.254.x.xになる。(APIPAが働く)

Windows7の場合 APIPAを有効にする方法

- 1 コントロールパネル → ネットワークと共有センター
- 2 アダプターの設定の変更
- 3 該当のEthernetアダプタを右クリック → プロパティ
- 4 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) 」を選択 → プロパティ
- 5 「全般」タブで「IPアドレスを自動的に取得する」を選択
- 6 「代替の構成」タブに移動
- 7 「自動プライベートIPアドレス」を選択 (デフォルト)
- 8 OK

Windows 11でのAPIPA (Automatic Private IP Addressing) の有効

- 1 設定 → ネットワークとインターネット
- 2 イーサネット (またはWi-Fi) を選択
- 3 使用しているネットワークアダプターをクリック
- 4 IPの割り当ての「編集」をクリック
- 5 「自動 (DHCP) 」を選択

★ UDP送信 可否表 (直結環境・route add 実行時を含む)

送信元 IP	宛先 IP	直結環境	route add 実行時	結果	理由
192.168.x.x	192.168.x.x	○	○	送れる	同一サブネット or ARP可能
192.168.x.x	10.x.x.x	○	○	送れる	直結のため ARP が通る (サブネット違いでもOK)
192.168.x.x	172.16.x.x	○	○	送れる	同上
192.168.x.x	169.254.x.x (APIPA)	△ (特殊)	△	送れる場合あり	同一L2なら ARP が通るため送れる。ただし Windows により不安定
10.x.x.x	192.168.x.x	○	○	送れる	同一LANなので ARP可能
10.x.x.x	169.254.x.x (APIPA)	△	△	送れる場合あり	同一L2のみ。ルータ越え不可
169.254.x.x	192.168.x.x	✖	✖	送れない	送信元が APIPA → 非APIPAへの送信は OS が禁止
169.254.x.x	10.x.x.x	✖	✖	送れない	同上
169.254.x.x	169.254.x.x	○	○	送れる	APIPA同士はリンクローカル通信可

yanaを管理者モードで立ち上げた場合、route addが発行されるため、通常は通信可能になる